



ARTIST NO KOSODATE? / Interview / No.07

ARTIST
NO
KOSODATE?

アーティスト
の
子育て

01 住まい 神奈川県

02 年齢 40代

03 性別 男性

04 子どもの数 1人

05 子どもの年齢 1歳

06 作家活動以外に仕事をされている方は、
可能な範囲でお仕事の内容を教えてください。

カメラマンとして、雑誌やウェブメディア、企業などから依頼を受けて撮影しています。作品制作では波やサーフィンを主題にしています。仕事ではサーフィン、アウトドア、ファッション、商品撮影、建築、その他ジャンルなど色々な撮影をしています。スタジオを運営していて月に何回かレンタルスタジオとして貸し出すこともあるので、その対応も仕事のひとつです。最近は動画撮影の依頼も増えてきました。仕事が優先で、空いた時間に作家活動をしています。

07 保育園・幼稚園などの保育サービスを利用していますか？
または過去に利用しましたか？ はい いいえ

08 (07)が「はい」の場合、預け先は？

保育園 通常保育 一時保育 認可 認可外 幼稚園 ファミリーサポートセンター
 その他

0歳児クラスに4月から入園させたくて、第8希望まで書いて申請したら、第1希望の保育園に入ることができました。生後7か月から通い始め、約半年が経ちます。特に事前に認可外に通わせるということとはしなかったのですが、夫婦共働きなので、それが入園できた理由かもしれません。

子どもが熱を出して、保育園から呼ばれることもあるので、すぐにお迎えに行けるような体制を作っています。僕も長期でロケに行ってしまうことがあるし、妻も仕事で何日が帰ってこられないことがあるのですが、夫婦間でちゃんと予定のすり合わせをして、僕か妻のどちらかは家にすぐ帰れる距離にいるように調整しています。

09 お子さんをもった後、作品制作時間はどう捻出していますか？〈複数回答可〉

保育園や学校に行っている間 睡眠時間を削る 子どもが寝てから 早朝 実家・親に預ける
 配偶者に預ける 仕事の合間 仕事が休みの日 捻出できない その他

実家が近いので、保育園が休みの土日は、両親に来てもらって子どもの面倒を見てもらい、その間に仕事をする時もあります。子どもができてからは、仕事を断ることもだいぶ多くなりました。長期のロケの依頼がきても、簡単には引き受けられなくなりました。葛藤はありますが、子ども優先と割り切っています。妻は子どもが生後2か月くらいの時に仕事に復帰しました。まだ子どもを保育園に入れてない時期

に、妻が仕事で5日間くらい家を留守にしたことがあって、その間は僕が子どもの面倒を見ました。もう大変で、育児鬱になる人の気持ちが分かるなと思いました。ほんの5分10分でいいから誰かに見てもらえるとありがたいのに、そんな隙間の時間さえなくキツかったです。生後1か月くらいで母乳をやめて粉ミルクにしたので、僕は授乳も含めて育児を一通りできるようになったのですが、母乳だけで育てている人は本当にすごいなと思いました。保育園に預けるようになってからは、すごく楽になりました。預けられるのは7時15分から18時15分まで、月曜日から金曜日まで最大限預けています。

話はそれますが、先日子どもが手足口病になって、僕も移ってしまいました。ちょっと発疹が出たくらいで済みましたが、僕の知り合いは、水泡がつぶれてぐちゃぐちゃになって手の皮が全部剥けたらしいです。大人がかかると重症化して、すごく痛くて歩けないとも言っていました。病児保育も登録しようかと思ったのですが、病氣中に不慣れな場所に預けるのは気が引けてしまい、今はまだ登録していません。

ただ、個人で仕事を受けていると代わりの人がいないので仕事を休めないプレッシャーは相当あります。撮影は多くのスタッフと動くことが多く、僕が休んでしまうと全体の仕事がストップしてしまう事もあるので、休むのは基本あり得ないです。でも子どもから熱をもらってしまって39度に達した時は、このコロナ禍なのでやめておこうということで、当日の朝、急遽撮影に行けるカメラマンを探してもらいました。十数年この仕事を続けていますが、今まで休むことはありませんでした。今までは自分の体調管理だけで良かったけれど、家族全員が健康でいられるよう心がけています。

**10 一日のうちで、①育児にかかる時間、②作家活動にかかる時間、③作家活動以外の仕事にかかる時間は、お子さんをもつ前と現在とではどう変わりましたか？
およその時間を教えてください。**

- ① 育児：0時間 → 5～16時間
- ② 作家：0～8時間 → 0～3時間
- ③ 仕事：10時間 → 6時間

海やサーフィンを撮影するうえで、太陽光の美しさはとても重要です。特に秋から冬にかけては光がきれいなので、その時期はできるだけ時間を作って作品制作に取り組んでいます。仕事は、子どもが生まれてから5分の4くらいにセーブしています。

11 お子さんをもった後、作品制作の環境(場所)は変わりましたか？

撮影対象がサーフィンや波など野外なのは変わらないです。
今は川を主題にした作品作りもしていて、大判カメラで撮って自分で現像して暗室でプリントしています。暗室は、以前は自宅内に作っていましたが、今は都内のレンタル暗室で作業しています。自分の作品やフレームなど、かさばる上に普段使わないものは全部実家に保管しています。

12 お子さんの存在が作品に影響し、作風や扱う素材、制作方法などは変わりましたか？

変わってないです。

13 コロナ禍が子育て中の制作に何か影響を及ぼしましたか？

保育園の行事は軒並みコロナで中止または縮小してしまって、保護者たちとの横のつながりが残念です。子育てとは直接関係ありませんが、コロナ禍になって、撮影場所が地元のみになってしまいました。逆に言うと、改めて地元を見直す機会にはなりました。

14 子育て中の制作において、どのような工夫をしていますか？

ネガティブな意味でなく、制作を断念する、諦めるということですかね。今は手がかかる時期だけど、それも一時的なものだから、子育てを楽しむという風に考え方を切り替えました。

もし20代の時に子育てしていたら制作や仕事との板挟みですごい葛藤があったと思うんですが、40歳過ぎてから授かった子どもなので、少しはやりきった感があって、そういう面ではよかったかなと思う事もあります。

仕事については、今後はスタジオで商品撮影をする仕事を増やそうかなと考えています。それなら自宅を長く留守にしなくて済みます。それに、これからは雑誌などの紙媒体が減って、ますますネットの需要が大きくなることも踏まえて、仕事の仕方も変えていかなければと思っています。

ちょっと話が脱線するかもしれませんが、夫婦でアウトドア好きなので、家族3人で一緒に海や山に行ったりしています。子どもを入れるリュックサック、登山用ベビーキャリアがあって、そこに座らせてよく出かけます。子どももそれに乗るのが好きらしく、公園によく連れていきます。あそこの芝はどうだとか公園に詳しくなってきました。人が少なく環境がいいところを探して出かけ、滑り台や遊具で遊んだり、おやつを食べたりしてお出かけを楽しんでいます。

家でずっという僕も娘も飽きちゃうので、子どもと一緒に自分たちがいかに楽しめるかを考えています。

15 子育て中の制作について身近に相談できるアーティスト仲間等はいますか？

ほとんどいないです。子育て中の友達にはいますが、子どもが小学生くらいまで大きくなっている人が多いこともあって、とくに相談することはないです。子育ても生後半年くらいまでは不慣れで余裕がなかったのですが、今はだんだんペースをつかんできました。

16 今現在、作家活動をするとしたら、どのようなことをやってみたいですか。

リサーチ 制作 展示 ワークショップ アーティスト・イン・レジデンス その他

将来的には自分の写真集を出したいですね。写真家の場合は写真集と写真展が主な発表の場になるので、アーティスト・イン・レジデンスには今のところあまり関心がありません。

**17 作品制作を継続するためには何が必要だと考えますか？
特に優先順位の高いと思うものを2つ選択してください。**

家族の協力 ひとりの時間 収入 美術に関する仕事への就労 仲間の存在 その他

**18 FAS にどのようなサービス・支援・配慮があれば、
子育て中の作家活動がよりスムーズにいくと思いますか。**

子育て中の作家同士のつながりの場所を作るということをやってもらえるとありがたいです。育児について右も左もわからない状態の時に、先輩たちがどういう風に制作と育児を両立させてきたのかを知ることができると助かります。それは育児本には載っていないことですから。アーティストの生の声を拾ってもらって、webに載せるのか、もしくは座談会みたいなのをやるのか、形態はどうなのがいいかわかりませんが、皆で共有できたらいいなと思います。

それから、制作する親を子どもの目線から見てどう思うのかに興味があります。もし自分が子どもだったら、親には好きなことをやって欲しいなと思いますが、作品制作に没頭され放っておかれるのも嫌だなと。なので制作と育児のバランスについて考えます。幼少期の子育てが人間形成にすごくかかわってくるでしょうから、も

しかしたら作品制作の時間を子どもに費やした方が良いのではと考える事もあります。

19 **お子さんの手が離れたら、どのように活動をしていきたいですか？**

長期で出かけて撮影に取り組みたいです。



ARTIST NO KOSODATE? / Interview / No.08

ARTIST
NO
KOSODATE?

アーティスト
の
子育て

01 住まい 神奈川県

02 年齢 30代

03 性別 女性

04 子どもの数 2人

05 子どもの年齢 8歳、3歳

06 作家活動以外に仕事をされている方は、可能な範囲でお仕事の内容を教えてください。

週1回2時間ほど、お店の庭の手入れをしています。

07 保育園・幼稚園などの保育サービスを利用していますか？
または過去に利用しましたか？

はい いいえ

08 (07)が「はい」の場合、預け先は？

保育園 通常保育 一時保育・ 認可 認可外 幼稚園 ファミリーサポートセンター
 その他

一般的な保育園ではなく、子ども二人とも自主保育を選びました。自主保育という言葉は聞き慣れないかもしれませんが、園舎はなく、同じ歳の子もたちと、海や山など基本的に自然の中で過ごします。雨の日でも雪の日でも野外活動です。週に3回ほど集まって、担当の保育者一人と、当番制で親が一、二人一緒に行って、子どもたちの見守りをしています。

知人の子が自主保育に入っていて話を聞いていたのと、上の子がやんちゃな男の子で、家の中にいたら家が破壊されそうだけれど野外ならいいかなと思って（笑）、2歳から自主保育に行かせることにしました。

上の子は4歳で1つ目の自主保育を卒業した後、就学前の2年間は、親だけで結成された保育者なしの別の自主保育に行きました。子どもたちも交えて何をするかを話し合っ、毎回いろいろやりました。活動はすごくクリエイティブで、集まっている親たちはアート系の人も多いです。

自主保育は、30数年前に鎌倉の人が最初に立ち上げ、全国に広まったんですが、数年前に幼稚園が無償化した影響で一気に人数が減ってしまい、なくなってしまいそうな感じです。

子どものすることになるべく口出しをしないというのがルールで、ここでは子どもたちが感じたことを大事にしています。例えば、公園で親子連れに会ったとして、自分の子が相手の子に何かをしてしまったら、親はつい「謝りなさい」と言いがちだし、それが躰なんですけど、自主保育ではなるべくすぐには止めずに、経験をさせます。見ていないようで見ていて、もちろんこれ以上は危険という時はやめるよう促したり、「それをやったら相手はどう思う？」と考えさせたりもするんですが、基本的には見守ります。

ただ、そうやって見守っているのがつらい時もありました。自分の子が友達を棒でたたいたりして謝りもせずにいる時や、逆に踏んづけられている時などは悲しくて、最初は悩みました。子ども自身も、まだしゃべれないし、男の子ばかりでバチバチしていたこともあって、人とのコミュニケーションが怖くなってしまったようで、抱っ

こしないと外を歩けなくなってしまいました。自主保育に入れたのは間違いだったかもしれないと思い悩んでいたんですが、半年が過ぎ、春がきて暖かくなってくると、関係が変わって友達ができ、成長していく姿を間近に見られたのはすごくよかったです。保育園に預けてしまっていたら、見えづらくなってしまったでしょうから。あとは親同士のつながりも濃密なので、子育ての相談をしたり、具合が悪い時に助け合ったり、何かと心強いです。子育ての方針というか、向いている方向が同じなので、一緒にいて楽なんです。自主保育では、親は救急救命講座も受けますし、危険な虫に刺された時の対処法も学びます。自分の危機対応能力がアップしているのを感じます。

難点は活動が忙しいこと。今は下の子が自主保育に行っているのですが、イベントがあったり会議があったりして、あまり一人の時間がありません。

09 お子さんをもった後、作品制作時間はどう捻出していますか？〈複数回答可〉

- 保育園や学校に行っている間 睡眠時間を削る 子どもが寝てから 早朝 実家・親に預ける
 配偶者に預ける 仕事の合間 仕事が休みの日 捻出できない その他

子どもが寝た後と、日中の隙間時間を見つけて制作しています。最近は年を取ってきて夜がたづらなくなってきました。一方で、制作活動は特にコロナ禍以降の方が忙しく、常に考えたり制作したりしていないと間に合わないのので、時間の捻出方法は悩みどころです。

下の子が今の自主保育を4歳で卒業したら、その後は親だけの自主保育に行くか、幼稚園に行くかに分かれます。もうすぐ幼稚園の願書の締め切りが迫っていて、どちらにするか悩んでいます。下の子を幼稚園に預ければ、少しは自分の時間が確保できるのですが、そうすると子どもと過ごす時間が減ってしまう。就学前の時期の子どもは見ていてとても面白いですし、上の子の時は一緒に過ごさせてすごく楽しかったという印象が強くなるので、制作時間の確保か、子どもとの時間の確保かで揺れています。

10 一日のうちで、①育児にかかる時間、②作家活動にかかる時間、③作家活動以外の仕事にかかる時間は、お子さんをもつ前と現在とではどう変わりましたか？ おおよその時間を教えてください。

- ① 育児：0時間 → 18時間
 ② 作家：2～5時間 → 0～3時間
 ③ 仕事：8～12時間 → 週1回2時間

11 お子さんをもった後、作品制作の環境(場所)は変わりましたか？

自宅の部屋で制作するというのは変わりません。今は家が狭く、自分の個室がもてないので、リビングの一角で制作しています。

12 お子さんの存在が作品に影響し、作風や扱う素材、制作方法などは変わりましたか？

人物や植物をモチーフとして描くというのは変わっていませんが、技法は変わりました。

以前は、版画をやったり、水彩で和紙に線描で描いたり、石膏の上からアクリル絵の具で描いたり、色々してきただんですが、子どもが1～2歳の時に、遊びで動物の絵を見せてあげようと思って描いているうちに、水彩でにじみを生かした今の作風にたどり着きました。この描き方は他にあまり見たことがないし面白いなと思って、以来ずっと続けています。

それから、格段に速く描けるようになりました。あまり広げて作業することができなくなっているので、コンパ

クトにリビングで作れる作品ということで、今のスタイルになりました。子どもに合わせて制作方法を変えたという意識はないんですが、理にかなった感じになっています。

13 コロナ禍が子育て中の制作に何か影響を及ぼしましたか？

ありがたいことに、最近は展示やワークショップのオファーが増えました。コロナ禍になって最初の展示は、実際に展覧会を開くことができなくてオンライン開催になりました。当初はネット上でだけで作品を見せるのは嫌だなと思っていたんですが、見せ方も考え方もスイッチを変えなければと思ってやってみたら、すごくおもしろかったです。去年からは、作品をSNSでちょっとずつ公開したり、作品に物語を考えて二日置きくらいに何節かずつ発表することで、飽きずに見に来てもらうようにしたり、工夫しています。

14 子育て中の制作において、どのような工夫をしていますか？

自分の身を削る、ということでしょうか（笑）。
あとは、可能な時は夫と子育てを分担したり、子どもは日中になるべく遊び疲れさせて、夜ぐっすり眠るようにしています。
ただ、どうしても今制作しなきゃという時に、子どもをアニメ漬けにしてしまうことがあって、罪悪感があります。アニメ自体が悪いわけではなく、いい影響もあると思うのですが、目が悪くなりそうだし、やっぱり忙しいのは嫌だなとすごく思います。

15 子育て中の制作について身近に相談できるアーティスト仲間等はいますか？

子どもを産んでから知り合った友人が、すぐ近所に住んでいます。子ども同士が同じ自主保育に行っていたことがあり、半年だけ活動を共にしたのですが、子どもが小学校に上がるタイミングで親子共によく遊ぶようになってぐっと距離が縮まりました。子どもたちは毎日のように一緒に学校へ行って、帰ってきてからもどちらかの家で過ごして、そのままお風呂に入って夕飯を食べて帰るなんてこともよくあります。親同士は、お酒を飲んだりしながら、横で制作のことや世間話に花を咲かせています。

16 今現在、作家活動をするとしたら、どのようなことをやってみたいですか。

リサーチ 制作 展示 ワークショップ アーティスト・イン・レジデンス その他

本を読んだりリサーチをしたりしたいですね。制作、展示、ワークショップ、アーティスト・イン・レジデンスは子どもができてからもやっています。

来月はアルミを使ったオーナメントのワークショップをやる予定です。それから子どもたちとステンシルでカレンダーを作るワークショップが、年末の恒例行事になりました。年齢によって違う絵になるのが楽しいです。上の子が1歳半の時に、子どもを連れてアーティスト・イン・レジデンスで長野に行きましたが、かなりきつかったです。木島平村の版画工房でレジデンスをして、村民とワークショップをして、展示もしました。1か月の滞在のうち、子どもは預けたい日に1週間分だけは保育園に預けられるということで、利用させてもらいました。田舎の保育園なので散歩で山に行ったり、ニラせんべいという郷土のおやつが出されたりしてとても興味深かったです。

ただ、子どもは初めての場所で不安に思ったのか、滞在初日は、文字通り休みなく一晩中泣き続けました。それで、私は子どもをあやすために真っ暗な田んぼの中をずっと歩き回ったりして気が狂いそうでした。

子どもを保育園に預けられない残りの3週間は、やっぱり日中は守りに追われるので、子どもが寝たあとの夜間に制作するしかないですね。制作場所は宿泊場所の隣の建物だったので、泣けば声が聞こえるかなと思って窓を開けて制作していたんですが、聞こえていなくて、気づいたら子どもはずっと泣き続けていて、可哀そう

なことをしたと思いました。

夫も一緒に行ければ子どもを預けて私が制作できたんでしょうけれど、その間夫が働けないと収入がなくなってしまうから、無理なんですよ。滞在中、生活費に相当する補助金のようなものが出るのであれば別なのですが。

アーティスト・イン・レジデンスはまたやりたいですか？

1歳半の子どもを連れてはもう行きたくないですね（笑）。小さな子どもと一緒にいくと、結局制作はなかなかできないです。

けれど、子どもを連れていけば一緒に様々な経験ができるので、それは宝のような時間になると思います。当時は本当に大変でしたが、素晴らしい景色のなかで村の人たちと親密に触れ合うことができ、滞在することで初めて知ることができたこともあって、今思うととても素敵な時間でした。子どもが少し成長した今なら、また行きたいとすごく思います。楽しめるかどうかは、連れていく子どもの年齢や性格が大きく影響するのかもしれないね。

17 作品制作を継続するためには何が重要だと考えますか？ 特に優先順位の高いと思うものを2つ選択してください。

家族の協力 ひとりの時間 収入 美術に関する仕事への就労 仲間の存在 その他

18 FAS にどのようなサービス・支援・配慮があれば、 子育て中の作家活動がよりスムーズにいくと思いますか。

自分の制作場所がすごく狭いので、アトリエスペースを提供してもらえると制作しやすいのですが、日中子どもを見ている時間が長いので、託児サービスがないと制作が進まないですね。自主保育を選んだ私としては、単純な託児とはまた違って、外遊び中心の面白い経験をたくさんさせてあげられるサービスがあったらいいなと思います。

19 お子さんの手が離れたら、どのように活動をしていきたいですか？

もっともっと自由に、遊びの延長として制作活動をして暮らしていきたいです。



ARTIST NO KOSODATE? / Interview / No.09

ARTIST
NO
KOSODATE?

アーティスト
の
子育て

01 住まい 神奈川県

02 年齢 40代

03 性別 女性

04 子どもの数 2人

05 子どもの年齢 11歳、6歳

06 作家活動以外に仕事をされている方は、
可能な範囲でお仕事の内容を教えてください。

作家活動以外に特に定職には就いていないのですが、今年から、娘が通っている保育園で造形を教えています。私がアーティストであるということを知って、保育園からお声がけいただきました。子どもたちの作りたいという意欲が高まったタイミングにあわせて、不定期で週1回くらい教室を開催しています。

07 保育園・幼稚園などの保育サービスを利用していますか？
または過去に利用しましたか？ はい いいえ

08 (07)が「はい」の場合、預け先は？

 保育園 通常保育 一時保育 認可 認可外 幼稚園 ファミリーサポートセンター
 その他

上の子は2歳から、下の子は0歳から保育園の通常保育を利用しています。

待機児童問題は我が家にとっても大きな問題で、特に私は会社員ではなく自営業者なので預けにくく、上の子は0～1歳まで一時保育を利用しました。産前産後をまたいで作家業が忙しいタイミングで毎日必死でしたが、4月入園に備えて準備して、第1希望に通ったのでよかったです。上の子の入園申請の時期に、たまたま夫が単身赴任だったのが大きかったかもしれません。あと、当時私の仕事も予定が立て込んでいたので、長時間の労働をしている実態が申請できました。会社員の夫によく言われるんですが、制作活動は本当に長時間労働で、もし会社に勤めていたらブラック企業です（笑）。

09 お子さんをもった後、作品制作時間はどう捻出していますか？〈複数回答可〉

 保育園や学校に行っている間 睡眠時間を削る 子どもが寝てから 早朝 実家・親に預ける
 配偶者に預ける 仕事の合間 仕事が休みの日 捻出できない その他

子どもが小さかった頃は、実質子どもが寝ている間しか作業できず、子どもが寝ないと焦り、子どもと寝落ちしてしまうと自己嫌悪に陥りました。夫が多忙で毎日午前様だったのでそれに対しても不満が募っていました。「その他」は、ママ友に預けます。日頃から預けたり預かったりする関係の友達は何組かいます。特にアーティストではありません。現在、生まれ育った場所で住んでいますが、私は日本の美大ではなくオーストラリアの大学で学んだので、地元のアーティストコミュニティとのつながりが希薄なんです。ただ、実家が近いのは子ども

を預けられるのでとても便利です。

オーストラリアの子育て事情はいかがでしたか？

オーストラリアにいた時は子育てをしていなかったのですが、詳しくはわかりません。でも、オーストラリアはアーティストに対するサポートが圧倒的に充実しています。日本とは比べようもないほど根本的に違います。

オーストラリアでは政府の文化芸術機関にアーティスト活動を申請をすると、生活費も含めた助成金が支払われます。もちろん支給対象は選別されて、全員に支払われるわけではありませんが、採択されれば額は桁が違って手厚いです。私も日本に帰ってきてから知ったのですが、オーストラリアは本当にアーティスト活動がしやすい国です。ヨーロッパに関して、住んだ人の話を聞くと日本よりも環境がいいんだろうなというのが分かります。日本はそもそも国が文化にかけるお金が少なすぎるんですよ。アーティストに対する認知度や位置づけも低いんです。日本ではアーティスト業はほとんど職業とみなされず、趣味でやっているんですよ、好きでやっているんだから経済的な苦勞は厭わないんですよ、っていう感じの扱いでしかありません。一般の人のアートの見方も全然違ってきます。たとえば絵画であれば、オーストラリアは家に白い壁がたくさんあるという事情もあって、一般の人がギャラリーやマーケットで日常的に買うんですね。有名な画家が描いたからではなく、自分がこの絵が好きだから買うという感覚が浸透しています。だからオーストラリアでは、マーケットに作品を出すと、売れてちゃんとお金になるんです。

10 一日のうちで、①育児にかかる時間、②作家活動にかかる時間、③作家活動以外の仕事にかかる時間は、お子さんをもつ前と現在とではどう変わりましたか？ およその時間を教えてください。

① 育児：0時間 → 8時間

② 作家：16時間 → 4～12時間

③ 仕事

私の場合、展示するとなると一定期間現地に滞在してインスタレーションを制作することが多いので、定職には就きにくく、2年間アルバイトで造形を教えていたことはありますが、作家活動以外の仕事に就いたことはほとんどありません。

地方の展示にはお子さんを連れて行かれたのですか？

はい。生後6カ月の下の子を連れて四国に行ったことがあります。制作と設置作業で1～2カ月の滞在になるので、マンスリーマンションを借りて住みました。まずは認可外の保育園探しから始まるのですが、それが本当に大変で、数か月という単位で子どもを預かってもらえるところがなかなかなくて、何か所も断られました。ようやく見つかったところは、場末のマンションの一室でやっている保育所で、ペットショップみたいに子どもを入れる柵が設置されていてぎょっとしたんですが、仕方がないから預けることにしました。でも、やっぱり子どもの様子がちょっと変になったのでこれはやばいと思ってやめて、実母に頼んで子守りに来てもらいました。その話を現地の人にしたら、主催者の関係者のツテで違うところに預かってもらうことができたので最終的にはよかったです。毎回子どもの預け先には悩まされます。

京都で展示をした時も、2歳前でまだおっぱいを飲んでいる子どもを連れて行きました。マンスリーマンションを借りて1か月ほど滞在しましたが、預かってもらえる保育所が見つからなかったため、結局実母に来てもらって日中子どもの世話をしてもらいました。

滞在中の保育料は自分で払っています。一人で滞在する分には、安いビジネスホテルにベッドが1台あるだけで宿泊先として充分なのですが、子ども（特に赤ちゃん）同伴となると、畳の方が安全です。でも、和室は一人用の部屋が少なく宿泊費が多目にかかるので、結局いただいた報酬は使い切ってしまうんです。

私の作品はいろんな人に関わってもらって制作することが多くて、作業場に人の出入りがあるんですね。それをいいことに、子どもを作業場に置いておくと、誰かしらが気にして見ていてくれるし、とてもいいコミュニケー

ションが生まれます。うどん屋のおばちゃん一家が子どもを預かってくれたこともありました。地方でのアーティスト・イン・レジデンスや展示は、その地域住民といかに交流するかというのも一つの目的だったりするので、子どもがいるだけで助けられた部分も多いです。

最初から子ども連れで制作しようと計画したというよりは、たまたまそうなったという流れで、それ以外手段がなかったんです。子どもがいていつながりや体験ができたから、大変だけど好奇心が勝って地方に出かけていました。あと、当時は体力があったんでしょうね。今は無理です（笑）。

あとは意地もあったかな。ある島で制作した時は、展覧会開催2年前くらいにオファーが来てお引き受けしていたんですが、その後妊娠が分かって主催者に伝えたところ、子どもがいたらできないんじゃないかというような反応が返ってきました。子どもが病気になってしまったらどうするの、島なのですぐに病院に連れて行ってあげられないよなどと心配するんですね。もっともではあるんですが、まだまだ男社会なんだなと思いましたね。産んだからには女性のあたなが面倒みるんでしょ、という社会通念がある。結局、そこでの展示は実現しませんでした。

制作と子育ての二者択一で、子どもの面倒みなきゃいけないでしょってことを言われちゃったら、いつまでたっても制作できないと思うんですよ。実際、例えば絵画のように家の中で作業できる作品ならまだやりようはあるのかもしれませんが、現場で制作するインスタレーションをやっている子育て中のお母さんアーティストっていうのは、私が知らないだけかもしれませんがそんなに多くはないと思います。でも母親にばかり育児を負わせるのは、なんかおかしいなと感じました。

11 お子さんをもった後、作品制作の環境(場所)は変わりましたか？

家と現場であることは変わりませんが、子どもたちの年齢を考えると、遠方のレジデンスには参加できないと思って、現場が地方ではなく近場にちょっとずつ変わってきました。

数年前に地元の芸術祭に参加した際には、子どもがいる環境で他の人にもかかわってもらって制作するという巻き込み型でやりました。地元だからよりスムーズにできたのではないかと思います。作業場所兼展示場所となるスペースを提供してくださる方がいて、その後も制作や展示の場所として引き続き使わせてもらっていて、コミュニティづくりに役立っています。

12 お子さんの存在が作品に影響し、作風や扱う素材、制作方法などは変わりましたか？

はい。インスタレーションは展示が終わったらゴミになってしまいます。作品保管場所も自宅以外には特になかったので気になっていたのですが、子どもが生まれたことでもっと未来を見るようになり、できるだけ自然に還る素材を使いたいと思うようになりました。

子どもが未就学児の時は、先ほどお話ししたように、子連れで地方に行くこともできました。でも、小学校にあがると学校に通わせなければいけないので今は無理ですね。私の中では子育ても大事なので、最近はアーティスト・イン・レジデンスに興味なくなってきました。

それから、これまでインスタレーションを制作してきましたが、去年、地元で知り合った方のご縁で絵本作りに着手し始めました。少しずつ変化しています。

13 コロナ禍が子育て中の制作に何か影響を及ぼしましたか？

はい。家族が少しずつ時間をおいてコロナにかかったので、結局3回くらい自宅待機をしました。展示は会期が決まっているので、焦りましたね。準備の間はまだなんとかなるけれど、展示作業の日に出外できないとなるとたくさんの人に迷惑をかけるわけで、自分の体調だけでなく家族の体調も気にしていました。子どもにはかわいそうでしたが、展示の前の数日間は、万一の場合も濃厚接触者にならないよう、一人ちょっと空間が違うところで食事をしました。

14 子育て中の制作において、どのような工夫をしていますか？

子どもが生まれる前から、いろんな人の手を借りながら制作するというスタイルでしたが、そこに子どもも巻き込んでいくというのが制作を続けるにはよかったかもしれません。

15 子育て中の制作について身近に相談できるアーティスト仲間等はいますか？

クラフト系の小型の作品を作っている作家さんとはよく話しますが、インスタレーション作品を手掛けている子育て中の作家さんは身近にはいないので、どうしているのか聞いてみたいです。

16 今現在、作家活動をするとしたら、どのようなことをやってみたいですか。

リサーチ 制作 展示 ワークショップ アーティスト・イン・レジデンス その他

そうですね、やってみたいことよりも、目の前にある課題を一生懸命こなすことで精一杯です。地元の芸術祭に携わり、数年かけてあるアートプロジェクトをずっとやってきたので、今決まっている制作や展示が終わったら、その後は一回クリアにしたいなと思っています。真っさらにしたら、また新しいことが始まるだろうと思います。

**17 作品制作を継続するためには何が必要だと考えますか？
特に優先順位の高いと思うものを2つ選択してください。**

家族の協力 ひとりの時間 収入 美術に関する仕事への就労 仲間の存在 その他

地元のアートプロジェクトは、予算ゼロから始めてでどこまでやれるのか興味があってやってきたんですが、蹟くのはやはりお金のことです。そこで、ショップをやろう、グッズを売ろうという風にいろいろ工夫して、結果トントンくらいだったので、初めてやってこれだけ出来たという達成感はあるものの、本当にたくさんの人の膨大な労力で成り立っています。だから、1回だけなら無理して開催できるかもしれませんが、お金がなければ続きません。皆が疲弊してしまいます。そういう意味で「収入」は大事です。行政が場所だけ与えて、予算はないけど何かアートプロジェクトをして欲しいというようなイベントが多々ありますが、お金がなくてもできるんだと思ってくれるなよと言いたいです。

**18 FAS にどのようなサービス・支援・配慮があれば、
子育て中の作家活動がよりスムーズにいくと思いますか。**

自分が作家として展示する場合は、施設に子どもを連れて行けるような雰囲気があればそれで充分かなと思います。特別何かをしてくれなくても、ちょっと声かけてくれるだけで、親としては子連れでも許されるんだという気持ちになります。

あとは、商業施設に多いのですが、夜に作品を設置しなければいけないというタイトな搬入・搬出スケジュールだと厳しいですね。以前、ある商業施設で夜間設置しなければならなかったのですが、第二子の出産が重なって、私は入院中に制作していました。設置作業は日中働いている夫が代わりに夜中に行ってくれました。

お客さんとして施設を利用する場合、美術館に子どもと一緒にいくとちゃんとは見られないので、託児サービスがあれば、ほんの10分とかでも助かるのかなと思います。子どもは美術館に行くのが退屈しちゃうので、行きたがりません。そこにちょっとお絵描きしたり遊べたりするスペースがあれば違うかなと思います。

19 お子さんの手が離れたら、どのように活動をしていきたいですか？



長期的な計画を立てるタイプではないので、もちろん作りたいですけど、どういう形になるかは分かりませんね。